かもがわ 議会だより

発行　議会広報委員会
〒296-8601　鴨川市横渚1450番地　電話04(7093)7825
ホームページアドレス　http://www.city.kamogawa.lg.jp/

令和8年(2026年)
11月15日
第87号

鎌倉時代から続く伝統行事「吉保八幡のやぶさめ」

疾走する馬上から的に向かって矢を射る「やぶさめ」が、吉尾地区の吉保八幡神社で執り行われました。県内で行われている本格的なやぶさめとしては唯一の例で、千葉県指定無形民俗文化財にもなっています。的の命中具合から翌年の稲作の豊凶を占う、五穀豊穣を願う農耕神事です。

一般質問議員8人の様子をインターネット(YouTube)で録画放映しています。
「市政を問う」コーナーのQRコードから、ぜひご覧ください!

マチイロ
マチを好きになるアプリ
※広報紙をスマートフォンやタブレットで

第87号の主な内容

○第3回定例会
・議案質疑……2
・議案等に対する討論……4
・常任委員会の審査内容……5
・一般質問……10
・議決結果……14
・賛否の公表……15
○災害お見舞い……15
○中学生だより……16

令和7年度一般会計歳入歳出決算の認定など22議案を可決・認定

9月定例会

令和8年第3回定例会は、8月28日から9月24日までの28日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長から提出された22議案を、すべて原案のとおり可決・認定しました。

9月2日・3日には、8人の議員が登壇し、市政全般に関する一般質問を行いました。

また、9月4日には、庄司朋代議員・福原三枝子議員・川﨑浩之議員・本吉正和議員・長谷川倫秀議員・秋山貢輔議員・長須賀和枝議員・小原好一議員・今井みゆき議員・阿部俊二議員が議案に対する質疑を行いました。

議案に対する質疑

◎議案第60号　鴨川市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

問　今回の改定案は単なる定期的な見直しではなく、受益者負担の適正化や財政健全化といった政策的な意図を含むものか。

答　手数料や使用料は、基本方針に基づき約3年ごとに検証を行って見直している。見直しの第一の目的は「受益者負担の適正化」で、施設ごとの事情も考慮している。この適正化を進めることで、市の財政健全化や経常収支比率の改善につなげていきたい。

◎議案第63号　鴨川市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問　宮運動広場を廃止することに至った理由と近年の利用状況は。

答　令和6年度以降は実質的な利用がない状態であり、年間約163万円の土地借上料等の経費に対する費用対効果を勘案したほか、地元関係者及び土地所有者の了解が得られたことから施設を廃止することとした。

問　用地返還までの今後のスケジュールは。

答　撤去する施設等の範囲は、宮区共有地1件及び個人所有地5件の計6件。工事費が可決され次第、本年10月頃に着手し、令和9年3月下旬までに工事を完了して用地を返還する予定である。

◎議案第65号　鴨川市小湊さとうみ学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問　小湊さとうみ学校の利用料を値上げすることになった経緯は。

答　物価や人件費の高騰による運営費の上昇に加え、現行の料金設定では季節に応じた柔軟な対応が困難であり、指定管理者から施設の安定的かつ継続的な運営を図るため、宿泊に係る利用料金の見直しの要望があった。施設の設置目的や運営状況、類似施設の料金水準、利用者の負担などを踏まえ、指定管理者と協議を行い、料金改定に至った。

問　この改定による増収の見込みは。

答　令和7年度の宿泊利用実績を基に、今後の利用者が同程度に推移すると仮定し、年間約284万円の増収になると試算している。

◎議案第66号　鴨川市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問　子ども医療費の自己負担額の一部を改正することになった経緯は。

答　県内54自治体中、全額無料は本市を含む17自治体にとどまり、残り37自治体では自己負担を求めて適正な受益者負担と制度維持を図っており、本市においても健全な財政運営と制度の持続可能性を確保するため見直しを行った。課税世帯及び所得超過世帯のみ、保険診療分の一部自己負担をお願いするもの。非課税世帯は無料を継続する。

問　減額された歳出の使途について、具体的な計画は。

答　この改定により、年間おおむね1000万円程度の歳出削減を見込んでいる。この歳出削減に伴う子育て支援策として、

例えば学童クラブＯＵＲＳの３つ目の支援単位の増設や、その他の学童クラブの拡充などを予定している。

◎議案第68号　鴨川市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について

問　条例で定める「火入れ」の定義や種類とは。

答　森林やその周辺で、造林のための地ごしらえや害虫駆除など、農林業上の目的で土地の草木等を焼く行為を指す。

問　野焼きの消防長への申請手続きは変更になるのか。

答　今回の改正で、市長が火入れを許可した場合に、市から消防長へその旨を通知する方式に改めるため、申請者の手続き負担が軽減される。なお、農家等が行う野焼きで条例の「火入れ」に当たらない場合は、従来どおり消防長への届出等が必要な場合がある。

◎議案第69号　鴨川市消防条例の一部を改正する条例の制定について

問　消防団員の定数はどのような根拠で算定されたのか。

答　本市では現状の団員数で運用しているため、消防団本部や各分団の意見を聴き、現状の団員数である５５４名を新たな定数として取りまとめた。



訓練を行う消防団員

問　１０７人削減したことにより、実際の災害現場における消防力が低下することはないか。

答　定数を見直した場合でも、人口に対する団員定数の割合は、県全体の平均を大きく上回る高い水準を維持できる。本市が県内９番目の面積を持つ自治体であることを考慮しても、団員数は十分に確保されており消防力の低下にはつながらないと考えている。

◎議案第70号　令和８年度鴨川市一般会計補正予算（第２号）

問　物価高騰支援対策の「中小企業等経営支援事業（かもがわお買い物スタンプラリー事業への補助）」と、「建設事業者等支援事業（住宅リフォーム等の費用助成）」の２事業について、それぞれどのような背景から実施することになったのか。

答　物価高騰等の影響により、市内の中小企業、小規模事業者等を取り巻く経営環境が厳しい状況にあることから、これまでも物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等を活用し、各分野において必要な支援を講じている。物価高騰、特に石油関連の価格高騰などにより商工会会員の総意として要望が提出されており、お買い物スタンプラリー事業も住宅リフォーム等の費用助成事業も消費低迷の影響を受けている商工事業者等を支援するとともに、市内における消費喚起を図ることができるものと判断した。また、商工会の建設工業部会員へのアンケート調査での意見を反映しており、商工会が実施する本事業に対して補助を行うこととした。

問　放課後児童健全育成事業について、令和８年10月から学童クラブＯＵＲＳの支援単位を増設する内容と運営方法は。

答　待機児童の発生や利用児童数の増加に伴い狭隘化していたため、事業者からの要望があり、認定こども園ＯＵＲＳ園舎の３階に増設する。今後

※議会用語、行政・財政用語等の解説は、こちら

の待機児童の解消と安全な保育環境の確保を図る。

問　10月から運営を行うにあたり、保護者や市民への周知方法は。

答　事業者から、現在利用中の保護者に対して、増設する内容を文書で通知し、認定こども園ＯＵＲＳのホームページにも同内容を掲載する予定とのこと。市のホームページからも閲覧できるようにしている。また、長期休業期間のみ利用する希望もあることから、他学童クラブを運営する社会福祉協議会等へも、情報提供を行う予定である。

◎議案第75号　工事請負契約の締結について（太海フラワー磯釣センター解体工事（1期工事））

問　鉄骨や鉄筋などの有価物を相殺した契約になっているのか。

答　鉄骨及び鉄筋等の有価物についてはスクラップ控除として設計時点で見込んでおり、結果として、有価物を工事費から控除した契約となっている。

問　人件費や重機使用料、廃棄物処理の手数料等が今後上昇する場合には、契約を見直すこともあり得るのか。

答　令和６年に改正された公共工事の品質確保の促進に関する法律において、適切な契約変更の実施が公共発注者の責務とされたこと、また、令和８年５月に県を通じて総務省及び国土交通省より、中東情勢を踏まえた適正な請負代金の設定や適正な工期の確保の徹底についてという要請が全国の自治体に出され、その中で、価格の高騰等の理由で、受注者から契約変更協議の申出があった場合には、スライド条項等を活用し、適切に対応することとされていることから、契約内容の検討が必要になる場合がある。

◎認定第１号　令和７年度鴨川市一般会計歳入歳出決算の認定について

問　令和７年度の医療扶助費は前年度に比べて、大きく増加しているが、その要因は。

答　急性期による病院での入院や手術が増えたことが大きな要因となっている。入院や手術が多くなっている背景は、高齢化に伴う医療依存度の増加と手術を必要とする骨折やがんなどの疾病の増加が挙げられる。

討論

◎議案第61号　鴨川市郷土資料館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対　藤本　省幸　議員

市外料金との差をつけることは仕方ないと考える。しかし、財政状況が厳しいからといって、受益者負担ということで市民に負担を掛けるやり方しかないのか。「鴨川市民でよかった」と思ってもらえるためにも、市民には無料を継続すべきと考え、反対とする。

◎議案第62号　鴨川市文化財センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対　藤本　省幸　議員

議案第61号と同様に、社会教育委員会議の中で、「市内と市外の料金には差をつけるなど、市民料金は軽減してほしい」との意見もある。市民会館が無くなり、市民の発表会や展示物を見てほしいという思いを酌むためにも無料とすべきと考え、反対とする。

◎議案第66号　鴨川市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対　藤本　省幸　議員

市は財政状況が厳しいからといって適正な受益者負担を求めているが、社会保障の医療費に求めるべきではない。県内で17市が無料としているのは、県民の長年の要望運動での成果で、残りの自治体でも要望運動している。

子ども医療費助成は、市の子育て支援で誇れるもので「子育てするなら鴨川市で」と言えるものであったが、財政状況が厳しくなったのは市民に責任があるわけではない。適正な受益者負担という考えで自己負担を求める前に、市の使える基金等の活用を含め考えるべきと考え、反対とする。

◎認定第１号　令和７年度鴨川市一般会計歳入歳出決算の認定について

反対　藤本　省幸　議員

歳入歳出差引残額が８億９９８９万６２８３円で、実質収支額は６億７９６４万円となっている。県内では小中学校給食無償化が29市町村に広がり、

本市でも小中学校の給食無償化ができる。物価高騰に苦しむ市民のための税金の使い方に改めていくべきと考え、反対とする。

◎認定第2号　令和7年度鴨川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

反対　藤本　省幸　議員

保険証廃止に伴い、医療関係現場ではマイナ保険証利用のために、人員配置をして対応せざるを得ないため、保険証を復活させるべきである。さらに、国保の構造問題による、被保険者の減少と年金者や非正規労働者、フリーランス等、不安定な雇用の方によって支えている。国が1兆円の公費負担を投入し、協会けんぽ並みの保険料にすべきと考え、反対とする。

◎認定第3号　令和7年度鴨川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

反対　藤本　省幸　議員

制度開始から「介護の社会化」「在宅で安心できる介護」などといった目的・理念は十分に実現されておらず、介護離職、ダブルケアやヤングケアラーなど公的介護の不足に現役世代や若者世代が苦しめられている。国庫負担を10％増やして35％にすれば、働く人も施設も改善出来ると考え、反対とする。

◎認定第4号　令和7年度鴨川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

反対　藤本　省幸　議員

後期高齢者制度は、原則1割負担で、現役並み所得がある方のみ3割であったが、22年10月から1割負担であった方のなかで、一定以上の所得がある方については窓口負担が2割に引き上げられた。高齢者いじめはやめるべきと考え、反対とする。

常任委員会の審査内容

各常任委員会に付託された議案の審査内容の主なものを掲載します。

予算常任委員会

◎議案第70号　令和8年度鴨川市一般会計補正予算（第2号）

問　固定資産税が3470万円の減額となった理由は。

答　土地については、課税標準の減額処理が増えたため。家屋については、学校法人が使用する家屋に非課税措置を適用したため。償却資産については、当初課税額が想定より落ち込んだためである。

問　江見認定こども園の改修工事の内訳は。

答　園児用のロッカー及びくつ箱の増設、1歳児クラスへ転用する子育て支援室の既存の専用出入口前への安全対策とロッカーの設置。

問　令和9年度の江見認定こども園の定員は。

答　閉園する鴨川認定こども園の全ての在園児の受皿となることを見込み、園全体の定員は、99人から124人となる。

問　地域農業構造転換支援事業補助金198万円の補正理由は。

答　市内の認定農業者の事業費に対する補助金として計上するもの。



改修を行う江見認定こども園

問　物価高騰対策漁業用燃油価格高騰重点支援金の申請見込み件数は。

答　8月末時点での申請は60件で、申請は131件を見込んでいる。

問　南房総観光連盟負担金13万7000円の減額理由は。

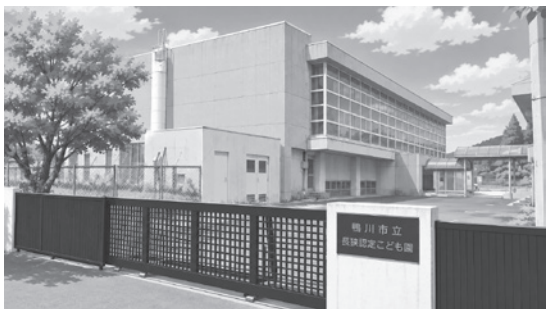
答　各市町の負担金について、観光入込客数を基準とした算出方法から、定住人口を基準とした算出方法に見直されたこと、また事業の見直しと経費の縮減が図られたため。

問　旧吉尾小学校屋内運動場除去事業の工期及び安全対策は。

答　工事着手を11月下旬、完了は3月下旬を予定。工事期間中は、仮囲いを設置するとともに、進入路を1箇所とし、交通誘導員を配置する。また、周囲に建物と同じ高さの足場を設け、防音防塵養

※議会用語、行政・財政用語等の解説は、こちら

生シートを取り付ける。保護者へは今後説明文を配布する。



解体される旧吉尾小学校屋内運動場

問　宮運動広場工作物撤去工事費用の８８０万円の内容は。

答　構造物の撤去、樹木等の伐採・撤去及び整地工事を実施する。

決算常任委員会

◎認定第１号　**令和７年度鴨川市一般会計歳入歳出決算の認定について**

問　海岸漂着物地域対策推進事業補助金の対象は。

答　前原・横渚海岸。８年度では、天津小湊、江見の海岸、市営漁港を追加した。

問　外国人も暮らしやすいまちづくり事業では相談件数が多く、人員不足では。

答　３か国語対応の国際交流員と、職員も翻訳アプリを活用して対応している。


前原・横渚海岸

問　防犯灯ＬＥＤへの切り替えで電気料の削減は。

答　令和７、８年度で実施し、削減額は、合計で約２２１１万円を見込んでいる。

問　生活困窮者自立支援事業の成果は。

答　①家計の改善、②就労支援、③住居の家賃補助を行い、自立支援につなげた。

問　看護師就学資金貸付金を返済した人数と、返還免除となった人数・金額は。

答　返還は８名。市内医療機関等に一定期間従事するなどの条件を満たした返還免除は10名で、金額は１１１６万円。

問　ごみの減量化に向けた取り組み内容は。

答　雑紙の分別と生ごみの水切り等を推奨している。仮に各家庭で毎月２kgを雑紙に分別すると、年間で約１４００万円の削減が見込まれる。

問　有害鳥獣の捕獲駆除数が増加の一方、被害額も増加傾向だが。

答　生息域の拡大や、新たな地域への波及などが要因である。捕獲は農地



雑がみの出し方・分け方

たまごパックなどはリサイクルボックスへ

への侵入防止と加害個体数のコントロールに有効であり、引き続き捕獲と防護を進める。

問　海水浴場の開設日数と入込客数、また、減少の要因は。

答　36日または32日間で、合計入込客数は4万483１人。令和元年度と比較すると、4万254人の減。要因は、レジャーの多様化などによるニーズの変化、気象の影響、駐車場の少なさなど。

問　地域住宅支援事業は、店舗兼住宅は補助対象か。また、事業廃止の理由は。

答　定住促進を目的に、住宅を取得した転入者を支援するもので、店舗等との併用住宅も条件を満たせば対象とした。廃止は、交付率の実績が極めて低いことと、アンケート調査から効果が限定的であると判断した。

問　安全・安心メールとLINEを連動した情報発信を考えているか。

答　安全・安心メールでは、気象情報は全国瞬時警報システムから、火災情報は安房郡市消防災害案内から、それぞれ自動配信されている。一方、LINEは、職員が記事を作成し配信するため、連携配信については調査研究する。

問　不登校児童生徒支援事業で、にじいろはうすの利用状況は。

答　登録者数は小、中学校合計64人で、前年度から8人増。1年間の来所数は、2940回で、前年度から311回の増。主な理由は、不登校だった児童生徒が、学校や医療機関との連携により来所につながるケースが増えたこと、また1人当たりの利用回数が増えていることなどである。

問　小学校管理運営事業、プール使用料の対象の小学校と、その経緯は。

答　田原小学校で、プールの老朽化が激しく、改修が必要であったため、KCCスポーツクラブでの水泳授業を学校側に提案し、実施した。

問　民間の屋内プールを利用するメリットやデメリットは。

答　メリットは、①気温や天候の影響なく授業を行えること、②クラブの指導員が加わり、より効果的な指導ができること、③維持管理費用や改修による多額な費用が抑えられ、コストの削減となること、④掃除や水質管理が不要となり、教職員の負担軽減につながること。デメリットは、①移動時間が必要となること、②実施日が限られており、学校側のスケジュール調整の必要があること。

問　わんぱくハウスが津波の一時避難所として利用された事例は。また、近年利用者が減少しているが。

答　令和7年7月30日、地震に伴う津波警報発令の際、近隣住民14人が一時避難した。

利用者の減少は、定期利用していた2団体が解



鴨川市安全・安心メール登録



市公式 LINE アカウント登録

※議会用語、行政・財政用語等の解説は、こちら

散したため。令和7年度の利用者数は262人で、ピーク時の平成22年度の約1割。利用促進に向け、引き続き、施設の周知に努める。

総括質疑

問　財政健全化に向けた取組内容と、その成果としての決算をどのように評価・認識しているか。

答　ネーミングライツやふるさと納税などによる歳入確保、事務事業・補助金の見直しや投資的経費の抑制による歳出削減に取り組み、決算に成果が反映された。また、取組以外では、人件費の減少等も影響した。決算の認識としては、財政調整基金は増加しているものの、臨時的要因も大きく、経常収支比率は99・8％と依然高いことから、構造的な改善には至っておらず、今後も、さらなる健全化に取り組む。

副市長　歳入では、市税や地方交付税の安定確保に加え、補助金などを積極的に活用し、ふるさと納税はさらなる強化を図る。歳出では、経常的経費の圧縮・節減に努める。経常収支比率の危機的状況は回避できたが、引き続き財政健全化に取り組む。また、基金積立を優先するあまり市民福祉や必要な投資的経費を過度に抑制しないよう、適切な予算編成・執行に徹していく。

市長　強い鴨川づくりに向けた財政等適正化基本方針に基づき、使用料・手数料を見直して受益者負担の適正化を継続し、一般財源の捻出に取り組む。また、ふるさと納税の推進や遊休施設の有効活用にも努める。一方、今回、経常収支比率改善の要因に、人件費の減額が挙げられているが、地域手当や管理職手当は、早い段階で元に戻し、財政の体質改善に努めていく。

総務建設経済常任委員会

◎議案第60号　鴨川市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

問　航空写真の写し並びに地番図及び航空写真の重ね図の写しの交付等に関し改正の経緯は。

答　課税資料の航空写真は閲覧や交付の要望が多く、情報公開請求等で対応と手続きが煩雑なため、窓口の利便性向上を図り交付できるよう新たに規定した。

問　航空写真等の交付の使途は。

答　土地や構造物の位置関係の確認と推察する。なお権利関係を証する図面ではなく、権利証明等に使用できない旨を説明し交付する。

◎議案第68号　鴨川市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について

問　林野火災注意報発令時、すべての屋外での焼却が禁止されるのか。

答　対象は本条例に定める火入れ行為で、一般的なたき火などは、従来どおり安房郡市広域市町村圏事務組合の火災予防条例のルールに従う。

問　農家等の野焼きで火入れに該当しない行為とは。

答　火入れは森林やその周辺で開墾や害虫駆除等を目的に一定の範囲に火を入れる行為で、市長の許可が必要。農作業とし



現場視察を実施した太海フラワー磯釣センター

て行う草や稲わらの焼却は該当しないが、消防関係法令や市環境条例等の規制を受ける場合がある。

◎議案第69号　**鴨川市消防条例の一部を改正する条例の制定について**

問　組織見直しの声はあるか。

答　団員の確保が厳しく見直しを望む声がある。鴨川市消防団組織のあり方検討委員会で協議を進めており、消防力低下を招かぬよう組織の見直しを図る。

◎議案第75号　**工事請負契約の締結について（太海フラワー磯釣センター解体工事（1期工事））**

問　騒音等の周知や釣堀営業への影響は。

答　周辺住民へは説明会を開催し、観光客へはホームページ等で周知する。釣堀へは仮囲いを設置する等対応し、支障がないと考えるが、危険と判断した場合、利用制限等を行う。

文教厚生常任委員会

◎議案第63号　**鴨川市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

問　宮運動広場はドクターヘリの離発着場所となっていたが、廃止後の影響は。

答　傷病者と医療スタッフがより早く接触でき、安全に離着陸できる場所が確保できれば、設定以外の場所を使用することも可能とされており、救急医療に空白は生じない旨を、安房郡市消防本部に確認している。


廃止となる宮運動広場

◎議案第64号　**鴨川市総合運動施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

問　陸上競技場を個人利用する小中学生の使用料を新設する理由は。

答　子どもたちのスポーツ活動への影響に配慮しつつ、受益者負担の適正化を図るため、2時間当たり一般360円、高校生240円のところ120円とする。

◎議案第67号　**鴨川市立認定こども園設置条例の一部を改正する条例の制定について**

問　鴨川認定こども園の閉園により、在園児について、来年度の方策は。

答　江見認定こども園を希望した場合、全ての園児が入園できるよう準備しており、その他の園を希望した場合でも配慮していく。


閉園となる鴨川認定こども園

◎認定第2号　**令和7年度鴨川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について**

問　国民健康保険税の対6年度比は。

答　収入額は4247万5457円の増となっており、令和7年度から国民健康保険税率等を改定したこと、納税義務者の利便性向上を図るため、口座振替やコンビニ収納サービスのほか、eLTAXを利用した電子納税など、納付方法の多様化を進めていることが要因であると考えている。

◎認定第5号　**令和7年度鴨川市病院事業会計決算の認定について**

問　令和6年度と比較して、年間入院患者数が減少した要因及び年間外来患者数が増加した要因は。

答　入院患者数の減少は、看護師不足への対応として病床運用を制限したことによるもので、外来患者数の増加は、眼科で非常勤医師の診療日を増加させたこと、歯科で歯科衛生士を増員し、院内の診療ユニットの稼働率を上昇させるとともに、個人宅、施設等への訪問診療を積極的に行ったことが要因である。



※議会用語、行政・財政用語等の解説は、こちら

問 市内の公共交通再編はどうなるのか

答 来年度からチョイソコの全地域運行を前提に



かもがわ青嵐会
小原好一 議員

一般質問
録画放映

市内公共交通の再編について

問 チョイソコの市内全域運行をどう進めるのか。

答 公共交通は、チョイソコかもがわの市内全域運行を前提に再編を検討。鴨川地域を加え、地域間をまたぐ移動を可能とし、車両を3台へ増やすとともにコミュニティバスの廃止を視野に入れ、朝夕の定時定路線による代替運行も検討した上で、来年度からの全域運行を目指す。

鴨川市と社会福祉協議会との連携について

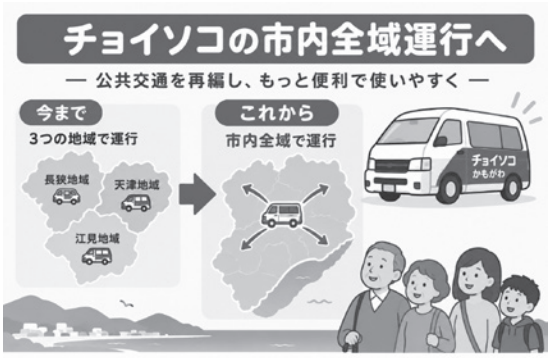
問 市と社会福祉協議会はどう連携するのか。

答 地域課題を共有し、それぞれの役割で連携をする。第4期健康福祉推進計画に基づき、市と社会福祉協議会が連携し、福祉総合相談センターや民生委員と連携して要支援者を把握するとともに、社協が地域に入り、住民や関係機関をつなぐものである。

イノシシ、サル等鳥獣対策について

問 鳥獣被害と市民の安全にどう対応するのか。

答 農作物被害や生活被害への対策を進め、住宅地や通学路周辺の安全にも対応する。捕獲、防護、担い手確保、ICT活用を進め、出没情報の地図化や情報共有も調査・研究し、対策を強化する。



問 田原メガソーラー事業における説明責任について

答 調停は継続中、開発継続の可否等を照会



無所属
長須賀和枝 議員

一般質問
録画放映

伐採木の搬出についての説明責任について

問 伐採木搬出の住民への周知状況は。

答 周知は充分ではなかった。事業者に事前の具体的周知と相談を要望した。

問 調停の進捗は。

答 協定の履行や説明会を求め、開発継続か中止か求めたが、事業者は検討中と回答。

問 有害獣対策の実態把握は。

答 猟友会に委託して有害獣対策をしている。捕獲数は増加傾向。要因の検証と継続的な状況把握に努めている。

提言 市民の安全安心を最優先に、事業者への厳格な監視を求める。

自然を活かした新たな財源確保について

問 自然環境を活かした移住定住対策は。

答 ふるさと回帰支援センターに業務委託し、移住や田舎暮らし体験等を実施している。

問 国が掲げる自然共生サイト等を地域づくりに活用は。

答 ネイチャーポジティブ宣言も視野にいれ、次期環境基本計画に位置付けていく。

問 自然資本で企業版ふるさと納税の活用は。

答 対象事業を洗い出し企業からの寄附を呼び込む仕組みを検討する。



新たな尾根の切土か？県は防災工事との回答

問 県指導で違法伐採を復旧する苗木に獣害除けは無いが

答 シカなどの食害が確認された場合に獣害対策を検討



無所属
入江裕一 議員

一般質問
録画放映

メガソーラー問題

問 〝衛星画像〟により工事現場と石仏の位置図を重ねると、大日如来様が工事現場に重なるので協定どおり移動保存されているか。

答 自然環境保全協定では郷土記念物として石碑、石仏等も適切に保存・移設するため、県が事業者に確認して一部は移設済で、詳細は確認中である。

意見 三者協定なので地元鴨川市も実際に確認して、残置森林切りの再発防止の意味としても現場確認は行政の重要な役目である。

問 隙間だらけの土砂流失防護柵では、台風シーズンを迎え、苗木だけでなく土砂災害の懸念もあるが大丈夫なのか。

答 苗木の植栽は、森林回復の目的であり、土砂流出防止柵などの防災対策は目的が異なる。その対策内容は、県が専門家に相談しており、本市も県の現地確認に引き続き同行し状況把握に努める。

宿泊施設の経済効果

問 宿泊客と日帰り客の観光消費額単価を比較すると。（詳細は、右上の録画放映参照）

答 宿泊客一人当たりの観光消費額は約4万2911円、日帰り客は約1万2495円となり、宿泊客は日帰り客に比べ、約3・4倍もの観光消費額となる。



鴨川の山と川と海を守る会提供

メガソーラー伐採の一部現場の状況（県の指導で残置森林の復旧作業及び防災対策作業中）

問 鴨川地域の利用登録時期をいつ頃想定しているのか

答 チョイソコかもがわの説明会を来年1月以降に予定



日本共産党
藤本省幸 議員

一般質問
録画放映

市内公共交通再編について

問 コミュニティバスの見直しの利用者アンケートの結果は。

答 利用目的は買い物、通院、遊び・趣味、通勤。目的地は鴨川駅や亀田病院・イオン鴨川店で、今回の調査結果、特に配慮すべきは、通退勤に利用する方が一定数いることで代替え手段の確保の検討が必要である。

問 鴨川地域の方のチョイソコの会員登録受付時期は。

答 来年1月以降に住民説明会を予定し、その際に案内をする。

災害対策について

問 市の避難所8か所の備品の備蓄状況は。

答 令和8年8月1日時点で、8か所にアルファ化米1万300食、飲料水1万1262本、携帯トイレ1万1700個、毛布1446枚、エマージェンシーシート533枚、ジョイントマット1921枚、ブルーシート874枚、簡易テント136張を振り分けて備蓄している。

問 ダンボールベッドの配備状況は。

答 避難所ではなく各備蓄倉庫に保管している。東条、鴨川、主基、吉尾、江見、曽呂・太海、天津、小湊の各備蓄倉庫に5床、長狭地区公民館に16床、また福祉避難所11施設に17床と福祉センターに10床を保管している。



不安な時ほど安心を

※議会用語、行政・財政用語等の解説は、こちら

問 避難所対策TKBを酷暑・厳冬を想定し、点検を

答 近隣市町村の状況を参考に、調査研究していく



公明党
福原三枝子 議員

一般質問
録画放映

田原地区メガソーラー違反伐採後等の状況は

問 許可条件違反に係る行政指導の項目とその後の進捗状況は。

答 残置森林の復旧作業とFIT認定失効に伴う事業計画確認の2項目。進捗状況は県の指導下で着実に進められている。

問 具体的な現地確認は。

答 令和7年2月以降、毎月県に同行し、現地の状況を把握している。

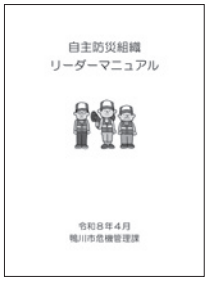
問 情報提供が必要では。

答 本市のホームページから千葉県のホームページへリンク設定など分かりやすい情報提供をする。

自主防災組織リーダーマニュアル完成に伴う今後の取組み等について

問 鴨川市の共助は改善の必要があるが。

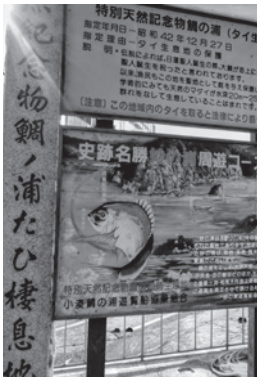
答 自主防災組織の活動の充実のために作成した。活用して頂きたい。今後住民が参加しやすい防災教室等を継続的に実施。



観光行政等と文化財保存活用地域計画について

問 文化財イコール観光資源と言えると思うが、今後、商工観光課と生涯学習課との連携並びに横断的組織等について見解を。

答 観光資源の調査・研究・活用は、文化財保存活用地域計画の推進体制で取組んでいく事が出来る。文化財担当部署と各関係部署が臨機応変に連携できる体制が重要である。



問 本市独自の平和教育は行われているのか

答 「青い目の人形」を題材とした平和教育を行っている



かもがわ青嵐会
本吉正和 議員

一般質問
録画放映

平和教育について

問 現在、日本には、近隣国の脅威がある。そこで、国民・領域（領土、領海、領空）・主権（他国から干渉されない権利）という国家の三要素を守るためには、どうしたらよいのかという教育は行われているのか。また、教科書ではどう解説しているのか。

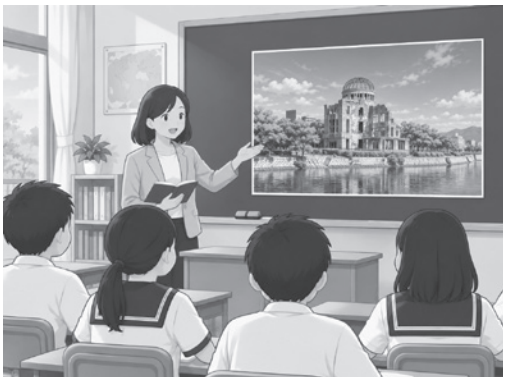
答 主に中学校社会科の公民分野において扱われている。ここでは、国民・領域・主権に関する内容とともに、国際法や国際機関の役割などを学ぶ。

教科書では、これらに関する説明の他、国際法の尊重や国際機関の役割が重要であること、一方で現在日本が直面している領土をめぐる問題を取り上げ、国同士の問題の解決が難しい現状について解説している。

ヤングケアラー支援の充実について

問 ヤングケアラーの把握と支援導入には、福祉、介護、医療、教育機関等の職員によるアウトリーチに加え、子どもの貧困や虐待のデータ、家庭センターへの相談内容も、ヤングケアラー発見には有効であると考えるが。

答 ヤングケアラーの定義を含めた情報発信をさらに充実させ、専門職の目から困っていると判断した場合には、関係機関につないでいく。



問 海辺の空き家・空き店舗対策は

答 海辺のポテンシャルを生かした施策を検討する



かもがわ青嵐会
阿部俊二 議員

一般質問
録画放映

海辺の空き家・空き店舗対策

問 今後どのような取組を行っていく予定か。

答 海辺商業エリアの空き店舗増加に危機感を持ち、今後は観光拠点整備と連動しつつ、商工会等と連携し民間活力を呼び込む施策を準備する。

問 空き家・空き店舗対策に特化した地域おこし協力隊の委嘱はいかがか。

答 新隊員が同じ問題に関心がある。基本業務定着を優先しつつ、本人の意向も活かす。増員は活動進捗や財政負担を精査し、総合的に判断する。

問 地域活性化起業人制度の導入はどうか。

答 海辺の空き家再生には民間企業の専門ノウハウは必須。当制度の活用含め、最適な人員体制を検討する

問 ふるさと回帰支援センターという名称を変更する考えはあるか。

答 名称変更による認知度のリセットやコストの観点から慎重にならざるを得ないが、効果的なプロモーション手法を前向きに検討する。

問 移住相談関連の別窓口の設置はいかがか。

答 海辺エリアの別窓口設置は有効な手法の一つである。支援センター内に専門部会を設置する方法など、最も効果的な方法を関係者と協議し検討する。



問 森林・林業基本計画変更に伴う、本市の方針は

答 県の計画内容を踏まえ、計画の見直しを適切に進める



自由民主至誠会
川股盛二 議員

一般質問
録画放映

市立認定こども園の方向性について

問 昨年10月に、令和8年度で鴨川認定こども園を閉園とするとの説明があったが、令和9年度以降の市立認定こども園の方向性について伺う。

答 田原認定こども園は当面の間、運営を継続。鴨川認定こども園は閉園し、令和8年度、鴨川認定こども園に在籍する園児の受皿は江見認定こども園として、園児や保護者への対応、調整などを実施する。

避難所指定の小中学校、体育館空調設備設置について

問 政府は避難所等になる公立小中学校体育館等の空調設備設置率を令和17年度までに100%を目標としているが、文科省の調査で鴨川市は設置0%。早急な空調設備設置を要望するが、今後の整備計画等を伺う。

答 避難所空調設備未設置施設は、災害時に安心して避難生活ができるよう、環境改善に努める。

提言 避難所指定小中学校体育館の空調整備は、対象工事費の補助率が2分の1、起債充当率100%、元利償還金への交付税措置率50%、実質的自治体負担が25%になる。屋内運動場空調設備整備事業の学校施設環境改善交付金を活用しての、早期整備を求める。



空調設備が整備されている体育館

※議会用語、行政・財政用語等の解説は、こちら

定例会議案等議決結果

【市長提出議案】

議案番号 (掲載ページ)	件　　名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
議案第59号	鴨川市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可　決	可　決 全会一致
議案第60号 (2･8ページ)	鴨川市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	総　務 建設経済	可　決	可　決 全会一致
議案第61号 (4ページ)	鴨川市郷土資料館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可　決	可　決 賛成多数
議案第62号 (4ページ)	鴨川市文化財センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可　決	可　決 賛成多数
議案第63号 (2･9ページ)	鴨川市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可　決	可　決 全会一致
議案第64号 (9ページ)	鴨川市総合運動施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可　決	可　決 全会一致
議案第65号 (2ページ)	鴨川市小湊さとうみ学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可　決	可　決 全会一致
議案第66号 (2･4ページ)	鴨川市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可　決	可　決 賛成多数
議案第67号 (9ページ)	鴨川市立認定こども園設置条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可　決	可　決 全会一致
議案第68号 (3･8ページ)	鴨川市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	総　務 建設経済	可　決	可　決 全会一致
議案第69号 (3･9ページ)	鴨川市消防条例の一部を改正する条例の制定について	総　務 建設経済	可　決	可　決 全会一致
議案第70号 (3･5ページ)	令和8年度鴨川市一般会計補正予算(第2号)	予　算	可　決	可　決 全会一致
議案第71号	令和8年度鴨川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	文教厚生	可　決	可　決 全会一致
議案第72号	令和8年度鴨川市介護保険特別会計補正予算(第1号)	文教厚生	可　決	可　決 全会一致
議案第73号	令和8年度鴨川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	文教厚生	可　決	可　決 全会一致
議案第74号	令和8年度鴨川市病院事業会計補正予算(第1号)	文教厚生	可　決	可　決 全会一致
議案第75号 (4･9ページ)	工事請負契約の締結について（太海フラワー磯釣センター解体工事(1期工事)）	総　務 建設経済	可　決	可　決 全会一致
認定第1号 (4･6ページ)	令和7年度鴨川市一般会計歳入歳出決算の認定について	決　算	認　定	認　定 賛成多数
認定第2号 (5･9ページ)	令和7年度鴨川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	認　定	認　定 賛成多数
認定第3号 (5ページ)	令和7年度鴨川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	認　定	認　定 賛成多数
認定第4号 (5ページ)	令和7年度鴨川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	認　定	認　定 賛成多数
認定第5号 (9ページ)	令和7年度鴨川市病院事業会計決算の認定について	文教厚生	認　定	認　定 全会一致

【報　告】

報告番号	件　　名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
報告第5号	令和6年度鴨川市の健全化判断比率に係る実質公債費比率の更正について			
報告第6号	令和7年度鴨川市の健全化判断比率について			
報告第7号	令和7年度鴨川市病院事業会計の資金不足比率について			

議員の議案等に対する賛否表

		1 阿部俊二	2 今井みゆき	3 馬淵俊行	4 小原好一	5 長須賀和枝	6 石川弘白三	7 入江裕一	8 藤本省幸	9 秋山貢輔	10 長谷川倫秀	11 本吉正和	12 川股盛二	13 川崎浩之	14 佐久間章	15 福原三枝子	16 庄司朋代	議決年月日	結果	賛成	反対
議案第61号	鴨川市郷土資料館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	−	○	○	R8.9.24	原案可決	14	1
議案第62号	鴨川市文化財センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	−	○	○	R8.9.24	原案可決	14	1
議案第66号	鴨川市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	−	○	○	R8.9.24	原案可決	14	1
認定第1号	令和7年度鴨川市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	−	○	○	R8.9.24	原案認定	14	1
認定第2号	令和7年度鴨川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	−	○	○	R8.9.24	原案認定	14	1
認定第3号	令和7年度鴨川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	−	○	○	R8.9.24	原案認定	14	1
認定第4号	令和7年度鴨川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	−	○	○	R8.9.24	原案認定	14	1

※○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席（棄権）、除は除斥、遅は遅刻、早は早退、「−」は議長を表します。
（注）1．議長は、過半数議決の場合は表決に加わりません。ただし、可否同数の場合は裁決権を行使します。また、特別多数議決の場合は、議長は議員として表決権を有しています。
（注）2．除斥とは、議会の審議における審議の公正を期するため、審議事件と一定の利害関係を有するため審議に参加することができない議員です。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます
復旧・復興にご尽力いただいている皆様に心より感謝申し上げます

このたびの台風第25号による記録的な大雨により、お亡くなりになられた方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご遺族の皆様に心よりお悔やみを申し上げます。

今回の災害では、尊い人命が失われたほか、家屋の全半壊をはじめ、道路や水道、電気、電話などのライフラインが寸断されるなど、市内各地で甚大な被害が発生いたしました。多くの市民の皆様が、心身ともに厳しい状況の中、不安や困難を抱えながら日々を過ごされていることと存じます。一日も早く平穏な日常を取り戻されますことを、心より願っております。

市議会といたしましても、一日も早い復旧・復興と暮らしの再建に向け、市長をはじめ執行部と連携しながら、将来にわたり安全・安心に暮らせる鴨川市の実現に向け、議会一丸となって全力を尽くしてまいります。

鴨川市議会

※議会用語、行政・財政用語等の解説は、こちら

中学生だより 42

このコーナーでは、市内の中学生の日ごろ感じていることや将来の夢などを紹介します。鴨川市議会は、そういった思いを後押ししていきます。



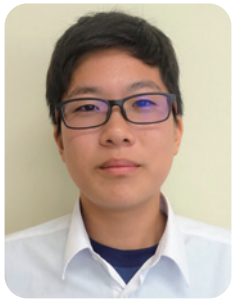
長狭中学校
1年
藤本　麻紀さん

これからもきれいな鴨川市

私は、将来の鴨川市が『ごみのないきれいな街』であってほしいです。

私の住んでいる長狭地区は、大山千枚田が有名です。自然豊かな環境は、鴨川の自慢であり、観光資源にもなっています。こうした鴨川市の魅力が、今後も多くの人の手で支えられていく、そんな未来を私は思い描いています。

そのためには、市全体で問題解決のために話し合い、活動することが大切だと思います。学校では奉仕作業があり、校庭の草刈りや校舎の清掃を保護者や地域の方々と一緒に行っています。私も積極的にボランティアや地区の清掃活動に参加し、地域の役に立ちたいです。「社会参画」の意識をもって関わり、鴨川市がますますきれいな街になるように自分ができることを進んで取り組んでいきたいと思います。



鴨川中学校
2年
村磯　遥紀さん

協力することの大切さ

先日行った宿泊学習のビバーク体験にて、「仲間たちと協力することの大切さ」を改めて実感することができました。ビバーク体験ではおよそ10人でタープの設営を行いました。私は主に現場で指揮をとり、時には自ら活動を行うこともありました。多くの人数で活動を行ったため、設営を行う上で、多少の対立はあったものの、双方の意見を聞き入れ、解決することができました。皆で協力したことで、雨も凌ぐことのできる立派なタープを張ることができました。

この経験を活かし、これから先、困っている人がいたら、皆で助け合い、手を差し伸べられるような人になりたいです。

市議会を見る

次の定例会は
11月27日(金)開会予定です

市役所5F　議場　しっかり

一番のおすすめは、議場の傍聴席。団体・グループでの傍聴もできます。また、議場にて議案等の貸し出しを行っています。

市役所1F　市政情報コーナー　気軽に

正面玄関から入ってすぐ左手。モニターで生中継がご覧になれます。

ご家庭　身近に

インターネット（YouTube）でライブ中継や録画映像をご覧になれます。

鴨川市議会　検索

お問合せは議会事務局まで。
電話　04-7093-7825
FAX　04-7093-7848

会議録の閲覧　いつでも

過去の会議録は、市議会ホームページや図書館、公民館でご覧ください。

令和8年第3回定例会の会議録は、12月中旬ごろ掲載予定です。

議会だよりをわかりやすくお読みいただくための**議会用語、行政・財政用語等の解説**はこちら

議会広報委員会

委員長	福原	三枝子	〃	阿部	俊二
副委員長	庄司	朋代	〃	今井	みゆき
委員	佐久間	章	〃	石川	弘白三
〃	本吉	正和	〃	入江	裕一

編集後記

芸術の秋、スポーツの秋、味覚の秋。深まる季節を楽しみたいと思います。今年は酷暑の長い夏、災害の夏でもありました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

鴨川市議会では、被災情報を議長のもとに集め、災害対策本部に報告しています。被災時には議員個人が担当課に直接相談することはありません。市民の皆様に公平性を保つことと、職員へのパワハラ防止のためです。どうぞご理解下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

（庄司朋代）

※「QRコード」は㈱デンソーウェーブの登録商標です